

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成 17 年 10 月 6 日 (2005.10.6)

【公開番号】特開 2004-58583 (P2004-58583A)
 【公開日】平成 16 年 2 月 26 日 (2004.2.26)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-008
 【出願番号】特願 2002-222993 (P2002-222993)
 【国際特許分類第 7 版】

B 3 2 B 15/08

【F I】

B 3 2 B 15/08 1 0 2 B

B 3 2 B 15/08 1 0 3 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 5 月 19 日 (2005.5.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

フッ素樹脂フィルム層 (A) 及び金属板 (C) が、カルボン酸、カルボン酸塩、カルボン酸無水物、エポキシ基、水酸基及びアミノ基からなる群より選ばれる極性基を有する極性モノマーを 1 重量 % 以上含有するエチレン・極性モノマー共重合体 100 重量部に対し、アミノ基又はエポキシ基を含有するカップリング剤 0.01 ~ 5 重量部を配合したエチレン共重合体組成物層 (B) を介して積層されてなる積層体。

【請求項 2】

フィルム層 (A) のフッ素樹脂が、テトラフルオロエチレン・エチレン共重合体、テトラフルオロエチレン・ヘキサフルオロプロピレン共重合体、テトラフルオロエチレン・パーフルオロアルキルビニルエーテル共重合体、ポリクロロトリフルオロエチレン、クロロトリフルオロエチレン・エチレン共重合体、ポリフッ化ビニル及びポリフッ化ビニリデンから選ばれるフッ素樹脂である請求項 1 に記載の積層体。

【請求項 3】

エチレン共重合体組成物層 (B) のエチレン・極性モノマー共重合体が、アクリル酸又はメタクリル酸を 5 ~ 20 重量 %、不飽和カルボン酸エステル含量が 0 ~ 20 重量 %、190、2160 g 荷重におけるメルトフローレートが 0.1 ~ 300 g / 10 分のエチレン・(メタ)アクリル酸共重合体である請求項 1 又は 2 に記載の積層体。

【請求項 4】

エチレン共重合体組成物層 (B) 中に酸化防止剤、光安定剤及び紫外線吸収剤から選ばれる少なくとも 1 種の添加剤が配合されていることを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の積層体。

【請求項 5】

請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の積層体からなる内外装材料。

【請求項 6】

カルボン酸、カルボン酸塩、カルボン酸無水物、エポキシ基、水酸基及びアミノ基からなる群より選ばれる極性基を有する極性モノマーを 1 重量 % 以上含有するエチレン・極性モノマー共重合体 100 重量部に対し、アミノ基又はエポキシ基を含有するカップリング剤 0.01 ~ 5 重量部を配合したエチレン共重合体組成物からなる、フッ素樹脂フィルム

と金属板を接着するための接着剤。